

2018年7月号 Vol. 56 (2018年7月1日発行)

せんしゆん



ISO9001:2015認証取得
日本医療機能評価(3rdG:Ver.1.1)認定病院

<http://www.senshunkai.or.jp/>

千春会

検索

発行責任者：菊地 孝三



写真提供：七岡内科医院 七岡 聖魏 先生
東福寺 塔頭 天得院 (京都市 東山区)

理 念 (3つの使命)

1. 患者・利用者の自立を支援し、良質な医療・看護・介護を提供する。
2. 仕事に誇りと責任を持ち、社会人としての向上を目指す。
3. 事業の充実により、住民の健康増進と地域社会の発展に寄与する。

基本方針 (5つの志)

1. 優しい心を基本とする。
2. 医療と介護の相互充実を基本とする。
3. 疾病・障害を一体的に把握し、総合的な医療・介護サービスの提供を基本とする。
4. 良好な療養環境の維持並びに向上を目指す看護・介護を基本とする。
5. 互いの立場を理解し、尊重しあう職場づくりを基本とする。

医療法人社団 千春会

4月より

「在宅強化型」から「超強化型」へ

超強化型
介護老人保健施設

春風



この度、介護老人保健施設 春風（長岡京市 久貝）は、4月に「超強化型」となりました。在宅復帰機能をさらに高めることを目的とした平成30年の介護報酬改定では、老健の評価基準が3区分から5区分となり、最上位の「超強化型」届け出はこれまで以上に厳しい基準になっています。

また、平成29年4月にオープンした介護老人保健施設 桃山（京都市 伏見区）も、開設わずか1年程ですが、6月中に届出し、7月1日より「超強化型 老健」となる予定です。

■ 多職種協働による高い回転率と在宅復帰率

※H29年度実績 ベット回転率 35.0%（平均）、在宅復帰率 67.4%（平均）

「春風」は、リハビリに特化した在宅復帰支援施設「在宅強化型老健（H.24届出）」として、7年にわたり高い在宅復帰率と回転率を続けてきました。お一人おひとりをしっかりサポートできるよう、春風にはセラピスト18名、管理栄養士6名を配置するなど人員を揃え、多職種（介護士、相談員、セラピスト、管理栄養士、医師、看護師等）が協働で、全員がしっかりと在宅復帰に取り組んできた結果です。今後ともさらに努力を重ねてまいります。



老健・デイケア併設

在宅復帰後も
継続したリハビリが
可能です

■ 老健、デイケア、ショートステイの継続サポート

春風には、老健（100床）、ショートステイ（20床）、デイケア（200名定員）を併設しています。様々なニーズにお応えできるよう朝から夕方までの「デイケアそよ風」、短時間でリハビリができる午前・午後各々3時間利用の「あお空」、認知症の方も落ち着いてリハビリができる小規模な「デイケアせせらぎ」と多様な機能を有しています。在宅復帰後も安心してリハビリが継続できるよう、連携したサービスを提供しています。



これからも、ご自宅での生活を大切にさせていただけるよう、いつも身近なリハビリ施設として在宅復帰に努めてまいります。

トピックス

お気軽にご相談ください

7月より 皮膚科の診療が始まりました!

皮膚疾患は、アトピー性皮膚炎、帯状疱疹（ヘルペス）など多岐にわたります。診断困難な疾患では、皮膚の一部を採取し、病理組織学的に診断いたします。帯状疱疹、類天疱瘡、薬疹、蜂単炎などでは、入院加療も行います。



担当医
奥田 浩人 先生(皮膚科)

皮膚科	外来担当日	水曜（午前診）	木曜（夜診）
	受付時間	8:00～12:15	17:00～19:45

千春会では、日本の医療・介護・福祉政策の現状をしっかりと把握し、より良いサービス提供につなげるべく、毎年、研鑽を重ねています。

4月より埼玉県立大学理事長にご就任され、慶應義塾大学大学院名誉教授でもあられる田中 滋先生に、医療、介護業界の最新情報や報酬改定に加え、経営的視点も含め、今年もご講演いただきました。

また、長岡京市長 中小路 健吾氏、健康福祉部長 池田裕子氏や近隣の大規模基幹病院院長もお越しになり、地域と共に未来を見据える講演会となりました。



(中央)埼玉県立大学 田中理事長を囲んで
(左)中小路長岡京市長 (右)千春会 菊地理事長

埼玉県立大学理事長・慶應義塾大学大学院名誉教授 田中 滋 先生 テーマ：時代環境を先取りする医療介護事業経営

埼玉県立大学理事長
田中先生は、これまで、医療・介護における我が国の政策提言をはじめ、多数の学会や研究会に所属され、審議会座長、議長等を務められるなど、「地域包括



講演中の 埼玉県立大学
田中 滋 理事長

ケアシステム構築」実現へ向けての重要な役割を担ってこられました。さらに今年4月からは、研究者としてのご実績を礎にマネジメントを展開すべく、埼玉県立大学理事長にご就任されました。

講演会では、2025年地域医療構想、地域包括ケアシステムという大きなビジョンに向けた今回の医療報酬・介護報酬の同時改定について、どのような視点で考えるべきか、マクロとミクロの視点からご講演いただきました。

経営は時代環境により変化するとして、「経営者は先を読むこと」が重要であり、すでに優秀な経営者は先導して「何が必要か」を見極め動いていること。国としてもデータや講習会などを通じて方向性のシグナルを発しており、先は読めるものであることなど、病院経営の時代変遷と共に話を進められました。急性期医療を中心に据えたこれまでの動きから、現在は「生活の場」「看取りの場」としての「在宅への移行」が重要視され、介護のための入院ニーズは減少しているといった社会の動きや時代に合致した経営戦略の必要性についてデータを基に詳しく解説していただきました。

今後の報酬算定評価では、退院支援や日常生活

維持のための訪問サービスはもちろん、施設においても事業種別ではなく、いかに「本来の機能を果たしているか」が重要であるとのこと説明があり、当法人の方向性を再確認致しました。

さらに科学的研究が進んだことによって、リハビリのアウトカム評価の重要性が高まること。しっかりと管理された栄養摂取により、体力を得てリハビリ効果が上がり、そのベースとなる栄養摂取においては嚥下機能、口腔ケアなどが関与するといった点もあわせてご説明いただきました。

また、通所介護は、単なる「お預かり」ではなく、「機能回復」が重要ということを一層認識すべきであるとのこと教授いただきました。

連続的かつ包括的な医療・介護サービスが重要であり、施設における医療機能の高さが評価されていくことから、千春会の老健については、切れ目のない連続した支援や機能を大変高く評価していただき、職員一同うれしさと共にあらためて果たすべき重責を認識しました。

最後に医療・介護事業におけるの将来像として、法人と他法人との連携、法人内での連携・協働が、より強化されていくことが求められ、予防からまちづくりまで、多世代共生の社会を目指すとして締めくくられ、日本社会における課題や未来像など広くご教示いただいた大変有意義な講演会となりました。

これからも千春会は、包括的な役割を担い、まちづくりの要の一つとして、地域社会のニーズに的確に応え、その役割をしっかりと果たしてまいります。

地域包括ケアシステムの構築に向けて

医療と介護の融合を目指し

第53回 京都私立病院学会

千春会より 20演題発表

今年も京都私立病院学会にて、千春会より医療部門、介護部門、事務部門から20演題が発表されました。

今後の課題である「看取り」「認知症」を継続演題、要望演題として、医局、看護部、検査科、リハビリ科、放射線科、栄養科、介護部、事務等から、日頃、問題意識を持って取り組んできた内容を発表しました。

当日に向けた本番さながらの予演会では、理事長、院長はじめ医局医師や職員が参加し、緊迫感の中で真剣な検討がなされました。各人がしっかりと予演会を重ね、どの部署も当日は落ち着いて発表することが出来ました。

また、介護部門での取り組みは6演題、多職種協働の演題を含めると9演題になり、医療と介護が一体となって効果の見られた報告では座長から感嘆の声が上がるなど、有意義な発表と



法人幹部職員と演者、共同研究者の皆さん



シンポジストとして千春会から(左より)2名が登壇

なりました。

今後の地域包括ケアシステム構築に向けては、「医療と介護の融合」なくしては成しえませんが、日頃の業務の中でも、常に「医療と介護の融合」を意識し、これからも実務・学識共に、さらに研鑽を積んでまいります。

地域との協働から始める地域包括ケアシステム

社会貢献で元気に生き生き暮らせるまちへ

地域の方々を支えるシステムへ

超強化型 介護老人保健施設 春風 にて

「地域お助けサポーター」受け入れ

「超強化型 介護老人保健施設 春風」では、「地域お助けサポーター」2名がボランティア活動として、レクリエーション補助などの業務サポートに来られています。

今年4月からはじまった「地域お助けサポーター(正式名称:長岡京市介護予防・日常生活支援サポーター)」は、高齢者の方がボランティア活動を行うことにより、地域貢献や社会活動の参加を促進し、ご自身の健康増進や介護予防にもつなげるものです。長岡京市介護予防・日常生活支援サポートセンター(長岡京市東地域包括支援センター)が開催する講座を受講することで長岡京市が認定証を発行します。認定された方々は、地域の高齢者及び障がい者施設でボランティア活動を行い、自助・互助・共助を実践していきます。

老健「春風」でも受け入れをはじめた「地域お助けサポーター」になるための認定講座は、11月に施設内で開講される予定です。

「自助・互助・共助」で互いにサポートできる地域へ

世代をつないで安全な社会を

トレパトウォーク 開催（長岡京市）

トレパトウォークに千春会協賛（医師派遣、物品提供など）
千春会病院 整形外科 石井清隆医師がレクチャーを担当

防犯・防災×トレパトでつなぐ子ども世代と高齢者

乙訓地域の小学生、保護者、高齢者約50名が参加



様々な所属の人々で構成される民間団体「ラブラボ乙訓」が実施している防犯・防災活動「トレパト」の「ウォーク編」が初めて長岡京市で開催され、千春会は医療知識を学びたいという要望に応え、医師派遣とレクチャーを行いました。また、安心・安全に歩けるよう、物品の貸し出し（ビブス 50 枚）、協賛等も含め、地域の医療機関として協力いたしました。

トレパトウォークは、トレーニング（ジョギング・ウォーキング）しながらパトロールする活動です。日頃、なかなか交流機会のない子どもたちと高齢者が、一緒に地域の危険箇所を見つけ出すことで、「子どもたちを守る」「高齢者を守る」という相互に思いやる気持ちを育みます。実際にパトロールすることで地域住民ならではの目線で危険箇所に気付くことができます。地図上にチェックし、行政、警察、消防などへの情報提供にも貢献する活動です。

当日は、長岡京市中小路健吾市長も来られ、向日町警察署員からは不審者から身を守る対処法を、千春会病院の石井清隆部長（整形外科）からは、安全な歩き方のレクチャーがあり、楽しい説明に会場が沸きました。

その後、空手道場「三柏館」の子どもたちの演武を開始として、危険箇所をチェックしながら歩きました。



整形外科 石井医師（右端）によるレクチャー

ビブスを着用することで、安全なウォークとなったこと、医師によるウォーキングレクチャーなどを通じ、健康な方々にとっても病院が身近な存在となりました。

これからも、地域との交流を通じ、より良いまちづくりに貢献してまいります。



危険箇所をチェックしながらウォーキング

施設提供で地域に貢献

在宅強化型 介護老人保健施設 桃山 にて

「はっぴい体操教室」 開催（京都市伏見地域介護予防推進センター）

「介護老人保健施設 桃山」の地域交流スペースで、「はっぴい体操教室」が開催されました。4月から6月に実施された全11回の体操教室は、地域の方々が介護予防のために参加するものです。

健康な高齢者の方々が気軽に介護施設を利用されることは、いつも身近な存在として認識していただける良い機会となります。地域に根差した老健「桃山」として、これからも地域に開かれた老健を目指して参ります。



このように、自然な形で千春会が地域と関わり、多くの方々（多世代）との緩やかなつながりを得ることで、地域包括ケアシステムに必要とされる「自助、互助、共助」を含めた地域住民との交流が活発になるための一助になればと思います。

これからも千春会は地域とのつながりを大切に、地域の方々との交流に努めてまいります。

歳時記
1

利用者さんが地域貢献！
小規模多機能型居宅介護 あさつゆ
長岡京市「ゴミゼロ運動」に今年も参加



歩きながら丁寧に清掃

長岡京市では毎年5月30日を「ゴミゼロの日」として、各地域での清掃活動を行っており、毎年千春会も参加しています。今年は、小規模多機能型居宅介護あさつゆの利用者さんも、清掃活動に参加しました。まずは事業所「あさつゆ」の近隣をきれいにした後、さらに車椅子や徒歩で「恵解山古墳公園（長岡京市勝竜寺）※」までを清掃しながら往復。

散歩気分を楽しそうに歩かれる中、道端のゴミを見つけてはゴミ袋に入れ、「爽やかで気持ち良いね」と。車椅子の利用者さまも「連れてもらえて極楽やね（笑）」とうれしそうでした。タバコの吸い殻などの小さなゴミまで丁寧に拾い集められ、「地域に貢献できてうれしいです」と心地良い疲労感と満足感に包まれ、皆さん満面の笑顔と、なっておられました。



恵解山古墳公園で清掃中の利用者さん

※古墳時代中期(約1600年前)の前方後円墳(全長128m)で乙訓地域最大規模。発掘調査では多量の鉄製武器(京都府指定文化財)等が出土し、復元整備を経て埴輪列等、古墳築造時の姿が偲ばれる公園としてH.26年に開園。

歳時記
2

ワクワク・ドキドキの職場体験 京都市立神川中学校 職場体験受け入れ

今年も病院では、看護部、リハビリ科、放射線科で受け入れ、かわいらしい中学生たちが様々なことを経験しました。どの部署も業務に多忙な毎日ですが、丁寧な説明や振り返りを行うなど、有意義な体験になるよう心がけています。次代を担う子どもたちの一助になればと、今後も協力をしてまいります。

- ★小さい頃から看護師さんに憧れていて、希望した。ご飯を食べられない人にも、トロミのついたお茶やゼリーなど工夫されていたのに驚いた。
- ★病院内にいろいろな部署があることがわかって良かった。
- ★放射線科では手首の骨をどのようにレントゲン撮影するのかを教えてもらった。



- ★リハビリは患者さん一人ひとりに合ったことをしていた。身体が動かせない人になる体験なども試みて、日常生活を支えるところがリハビリだとわかった。
- ★寝たまま移動できる車椅子に乗るのは、前が見えないので怖かった。看護師さんの声かけが大切だということがわかった。

編集後記

本号表紙は、色涼しげな桔梗。根は漢方薬、花言葉は永遠の愛、誠実など、風水ではツキのないものを排除するとも、桔梗を家紋とした武將は、次年度大河ドラマの知将・明智光秀が有名です。長岡京の勝竜寺城主、細川忠興の妻は、明智光秀の娘ガラシャ(玉)であり、

夫婦仲睦まじいことでも知られています。凛として優しい桔梗の如く、千春会も「医療、介護、福祉」の根で地域を支え、皆さまの万難を排してまいります。花言葉のように、誠実に永遠に…。(弘) 表紙写真…元・乙訓医師会会長、監事歴任の七岡先生ご提供

患者さまの権利と義務

当院では、次に掲げる患者さまの権利を尊重します。

- 1 患者さまは誰でも、良質な医療と良質な看護を公平に受ける権利があります。
- 2 患者さまは、医療の内容について納得できるまで十分な説明を受ける権利があります(インフォームドコンセント)。
- 3 患者さまは、他の医療機関の医療者に意見を求める権利があります(セカンドオピニオン)。
- 4 患者さまは、医師から説明を受けた治療方法など自らの意思で自由に選択し決定する権利があります。
- 5 患者さまは、ご自分の診療録など診療情報の開示を求める権利があります。
- 6 患者さまは、個人の情報やプライバシーの保護を受ける権利があります。

また良質な医療と看護を公平に受けていただくために、患者さまに次の義務をお願いしております。

- 1 患者さまご自身の健康に関する情報を、できるだけ正確にご提供ください。
- 2 十分理解できるまで質問していただき、納得した上で治療をお受けください。
- 3 患者さまおよびご家族の方々、他の患者さまの治療や職員による医療提供の支障にならないように協力する義務があります。



日本医療機能評価機構認定病院

千春会病院

〒617-0826 京都府長岡京市開田2丁目14-26
TEL. (075)954-2175 FAX. (075)955-4615